

## 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症関連の決算額は2,885億円となりました。今後も感染状況などを十分に見極めながら必要な対策を実施していきます。

### 令和2年度の主な対策

- 特別定額給付金の支給
- 事業者への資金繰りの支援
- 検査体制の強化
- プレミアム付き商品券の発行 など

## 特別会計

一般会計と区別が必要な事業の会計

8つある特別会計は  
いずれも赤字はありませんでした

※各項目・区分ごとに四捨五入しています

保険料などは  
お財布を分けて  
収入と支出を  
確認しやすく  
しています



区分	歳入	歳出	差し引き	区分	歳入	歳出	差し引き
土地区画整理	2.5億円	2.5億円	0円	後期高齢者医療	287億円	276億円	11億円
駐車場	3.4億円	1.3億円	2.1億円	介護保険	1,547億円	1,508億円	39億円
母子父子寡婦福祉資金貸付	5.8億円	1.3億円	4.5億円	基金	22億円	22億円	0円
国民健康保険	1,814億円	1,785億円	29億円	公債	3,658億円	3,658億円	0円

## 企業会計

民間企業のように利用料金などの収益で運営している会計

収益的収支<sup>※1</sup>は、中央卸売市場・路面電車は赤字、市立札幌病院・地下鉄・水道・下水道は黒字です

※各項目・区分ごとに四捨五入しているため、差し引きが一致しないところがあります  
※1 企業の経営活動に伴って生じる全ての収益と費用

### 市立札幌病院



#### 主な整備内容

医療機器や老朽化した設備の更新

収益的収支	資金の状況
収入 273億円	35億円の資金残 <sup>*</sup>
-) 支出 243億円	赤字の累積額
<b>30億円</b>	58億円

※一般会計からの長期借入金27億円を含む

### 中央卸売市場



#### 主な整備内容

老朽化に伴う市場設備の更新、改修工事

収益的収支	資金の状況
収入 21億円	9億円の資金残
-) 支出 22億円	赤字の累積額
<b>-1億円</b>	46億円

### 路面電車



#### 主な整備内容

低床車両の製造や変電所設備の新設、停留場の改修工事

収益的収支	資金の状況
収入 14億円	2億円の資金残
-) 支出 15億円	赤字の累積額
<b>-1億円</b>	6億円

### 地下鉄



#### 主な整備内容

南北線高架駅の耐震改修工事、駅のトイレの改修工事

収益的収支	資金の状況
収入 397億円	16億円の資金残
-) 支出 393億円	赤字の累積額
<b>5億円<sup>*</sup></b>	2,106億円

※消費税抜きでは4億円の赤字

### 水道



#### 主な整備内容

施設、水道管路の更新や耐震化

収益的収支	資金の状況
収入 460億円	169億円の資金残 <sup>*</sup>
-) 支出 350億円	赤字の累積額
<b>109億円</b>	なし

※水道施設更新積立金96億円を含む

### 下水道



#### 主な整備内容

老朽化した下水道管路や施設の改築、雨水対策、地震対策

収益的収支	資金の状況
収入 502億円	69億円の資金残
-) 支出 481億円	赤字の累積額
<b>21億円</b>	なし

次のページへ続く

# さっぽろのお財布

市民の皆さんが納めた税金がどのように使われているのかをお伝えするため、市では決算や予算の執行状況を毎年公表しています。このページでは、令和2年度の決算の概要や、市の財政状況をお知らせします。 [詳細](#) 企画調査課 ☎211-2216



## 令和2年度決算の概要



お金の使い道は3つの会計に分けていきます

### 一般会計

福祉や教育、道路整備など行政の基本的な事業の会計

歳入から歳出を差し引いた収支は157億円の黒字です

想定よりも市税の減収幅が小さかったことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い医療・福祉サービスの利用が減少したことや、少雪により除雪費の支出が減少したことなどから、黒字収支となりました。

※各項目・区分ごとに四捨五入しているため、合計などが一致しないところがあります

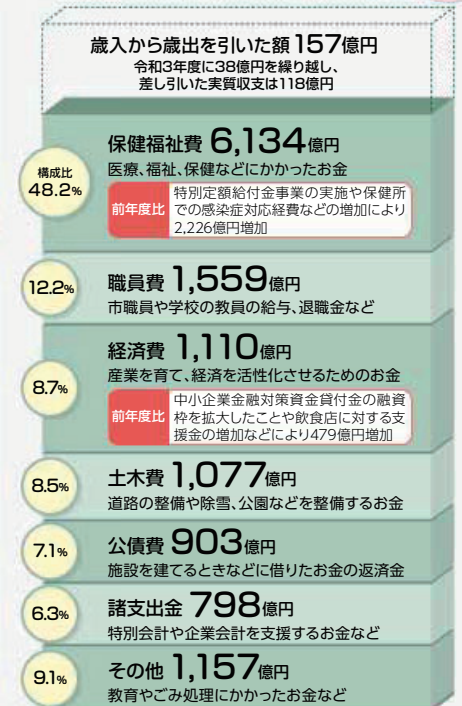
歳入総額 **1兆2,894億円**

前年度比2,866億円増(28.6%増)



歳出総額 **1兆2,738億円**

前年度比2,815億円増(28.4%増)



市民1人当たり **64.5万円**

※1 令和3年4月1日現在の人口(国勢調査ベース)で割って算出

# 令和3年度予算の執行状況

※令和3年9月30日現在

## 一般会計

歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
1兆2,948億円	35.3%	39.9%

## 特別会計 ※公債会計を除く

区分	歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
国民健康保険	1,827億円	36.8%	39.5%
介護保険	1,597億円	39.9%	40.0%
その他	327億円	36.2%	29.1%

## 市債残高

一般会計	特別会計	企業会計
1兆1,297億円	12億円	5,382億円

## 企業会計 (収益的収入と収益的支出)

区分	収入予算額	収入執行率	支出予算額	支出執行率
市立札幌病院	255億円	50.5%	254億円	45.7%
中央卸売市場	22億円	46.3%	23億円	43.0%
路面電車	10億円	19.3%	15億円	18.4%
地下鉄	410億円	36.7%	407億円	21.3%
水道	452億円	48.4%	371億円	41.0%
下水道	505億円	39.3%	489億円	14.8%

基金残高	4,271億円
一時借入金	企業会計(地下鉄60億円)

# 市の財政の長期的な見込みと取り組み

## 今後の財政運営は？

中長期的に持続可能な財政構造への転換を進めていくため、財政基盤の強化を図るとともに、財産の戦略的な活用が必要です。

### お金の使い方と集め方の見直しを一層推進

- 子育てやまちのリニューアルなどへ積極的に予算を配分しながら、各事業の見直しを進め、めりはりのある財政運営を行う
- 将来世代に過度な負担を残さないよう、市債の適切な管理を行うとともに、市税などの収納対策や経済活性化により収入を増やし、財政基盤も強化

### 将来世代に引き継ぐ基金の残高は適切な水準に管理

- 今後もまちづくりの取り組みを進めるため、基金を活用しますが、不測の事態への備えも含めて適正な水準を維持

## 重点的な取り組み

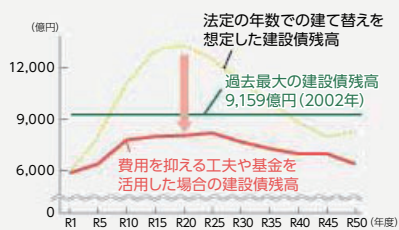
### 公共施設の更新の必要性に対応して建て替え費用を抑制



1970年代に急速に成長した札幌は、建物の更新時期も集中しています。抑える工夫が必要ですよ

- 建物が長く使えるように、改修や修繕を実施
- 建て替え時期を分散させて、費用の偏りを軽減
- 施設の機能を維持しながら複合化を進め、総量を抑制

### 建設費に充てられる市債(建設債)残高の見直し



市の財政の詳細は、ホームページでもご覧になれます

札幌市の財政 検索

# 資産

## 基金

※令和3年3月31日現在

特定の事業や財源が不足したときに使う貯金

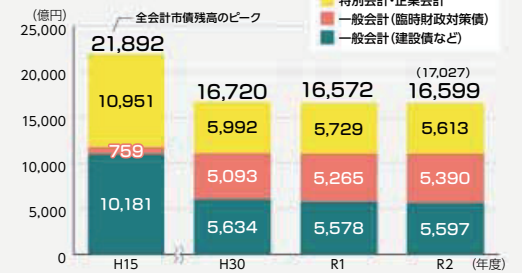
- 残高 … 4,148億円
- 財政調整基金259億円など23基金

# 市債

## 市債残高の全会計合計は増加

本来国が負担するお金を市が一時的に肩代わりする臨時財政対策債が増えていることなどにより、市の借金である市債の残高は、前年度に比べて27億円増えましたが、市のまちづくりの計画であるアクションプラン2019で見込んでいた額を下回り、堅調に推移しています。

## 市債残高の推移



※( )内はアクションプラン2019での見込み  
※計数ごとに四捨五入しているため合計が一致しないことがあります

# 市の財政の特徴 (令和2年度決算)

自治体の財政状況を示す指標である「健全化判断比率」は良好な水準です。しかし、医療や福祉などにかかる費用が増え、自由に使えるお金が少ない状態が続いており、油断はできません。



指標となる数値や、他都市との比較を見ていきます

## 健全化判断比率の4つの指標は良好

指標	札幌市	早期健全化基準*
実質赤字比率 一般会計を中心とした赤字の比率	赤字なし	11.25%
連結実質赤字比率 全ての会計を合わせた赤字の比率	赤字なし	16.25%
実質公債費比率 年間の借金返済額の比率	2.6%	25%
将来負担比率 将来の負担となる借金などの比率	43.0%	400%

※この数値を上回ると財政健全化の取り組みが必要になります

## 自力で得る収入が少なく、国からの交付金が多い

### 財力指数(高い方が健全)

標準的な行政を行うためのお金を自ら賄える割合

0.738

政令市20都市中17位  
政令市平均0.859

## 定期的な収入に対して、自由に使えるお金が少ない

### 経常収支比率(低い方が健全)

お金が義務的な経費などにどれだけ充てられているかを示す割合

97.1%

政令市20都市中7位  
政令市平均96.7%